

平成26年7月定例記者会見要旨（平成26年7月1日開催）

1. 岡山県・香川県の地域サッカーチームの対戦が「瀬戸大橋ダービー」と名付けられ、両県の交流が図られているが、今後、坂出市は瀬戸大橋をどのように観光戦略に生かしていくか。

瀬戸大橋は本市最大の観光資源であると考えており、今後、サッカーなどを通じてさらなる交流人口の増加を目指したい。

本市では今夏に瀬戸内海国立公園 80 周年記念のシーカヤックイベントを予定しているほか、瀬戸大橋沿いの島（与島・櫃石島・岩黒島）をめぐる「まち歩き三島物語」を実施し、魅力のPRを行ってきた。食事や施設整備、アクセス等に課題も残るが、今後も継続して実施していきたい。また、ここ最近、市内でまち歩きイベントを行う団体・個人等が増えている。今後、それらを集約して組織化していきたい。組織化することで日程調整や情報交換等が可能となり、市民共働で「深みのある観光」を提供できるのではないかと考える。

その他、与島フィッシャーメンズワーフ跡地活用についての働きかけや、外国人観光客の誘致についても検討していきたい。

2. 集団的自衛権に関する閣議決定について、市長の意見をお聞かせいただきたい。

憲法解釈の変更により、集団的自衛権行使を認める閣議決定がなされるとのことだが、憲法の改正によるのが本来の姿であると考えます。（解釈変更による対応では増幅することも危惧されるため）今後、関連する法整備の動向を注視しなければならないが、国民を守るのは国の使命であり、この機会に国民に問いかけ、納得してもらうことが重要ではないか。